

産業廃棄物処理計画書

令和元年6月19日

千葉市長 殿

提出者

住所 千葉市美浜区新港230番

氏名 (株)J-オイルミルズ 千葉工場

工場長 山下 勝

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-241-1251

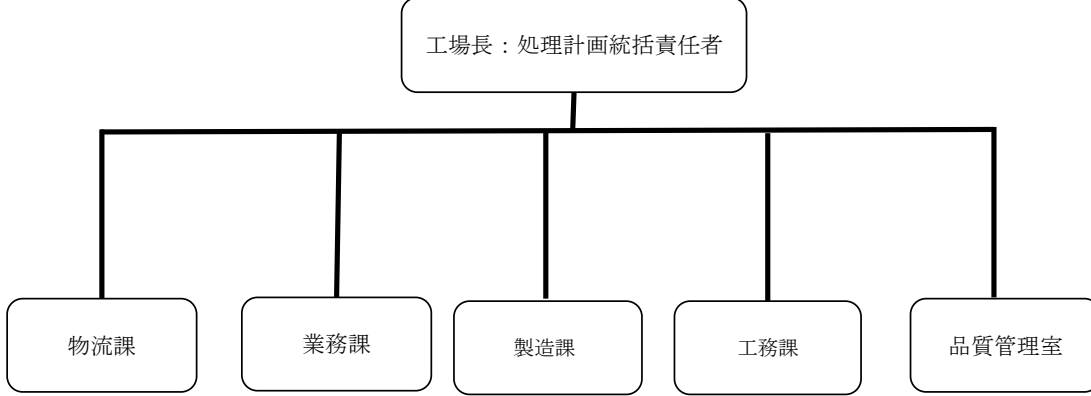
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社J-オイルミルズ 千葉工場
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区新港230番
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：食料品製造業 小分類：動植物油脂製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額 284億円
③従業員数	75名(正社員63名、派遣・パート12名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙ー1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



- ・ 処理計画作成担当
- ・ 廃棄物担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙一2のとおり

①現状	【前年度（平成30年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) ・ 製品の歩留まり管理を常に行いロス排除に努めている。 ・ 規格外製品の有価物化	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 歩留まりアップ、ロス排除の継続 ・ 規格外製品の有価物化の継続	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 汚泥：発生工程別に分別管理し、再生用途に合わせて委託業者に委託している。 ・ 廃油：鉱物油を植物油と分別し有価物化している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状行なっている施策の継続実施

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 別紙-2のとおり

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・排水処理で発生する汚泥から有効成分をとり肥料原料に再生し売却		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・これまでに実施した取組の継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 別紙-2のとおり

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・廃油：工程で発生する廃植物油を燃料化し、副生油ボイラーで燃焼させ熱回収している。 ・汚泥：排水工程で発生する汚泥を乾燥させ減量化している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・これまでに実施した取組の継続			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙—2のとおり

①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	（これまでに実施した取組） ・これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行なったことはない。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	（今後実施する予定の取組） ・引き続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙—2のとおり

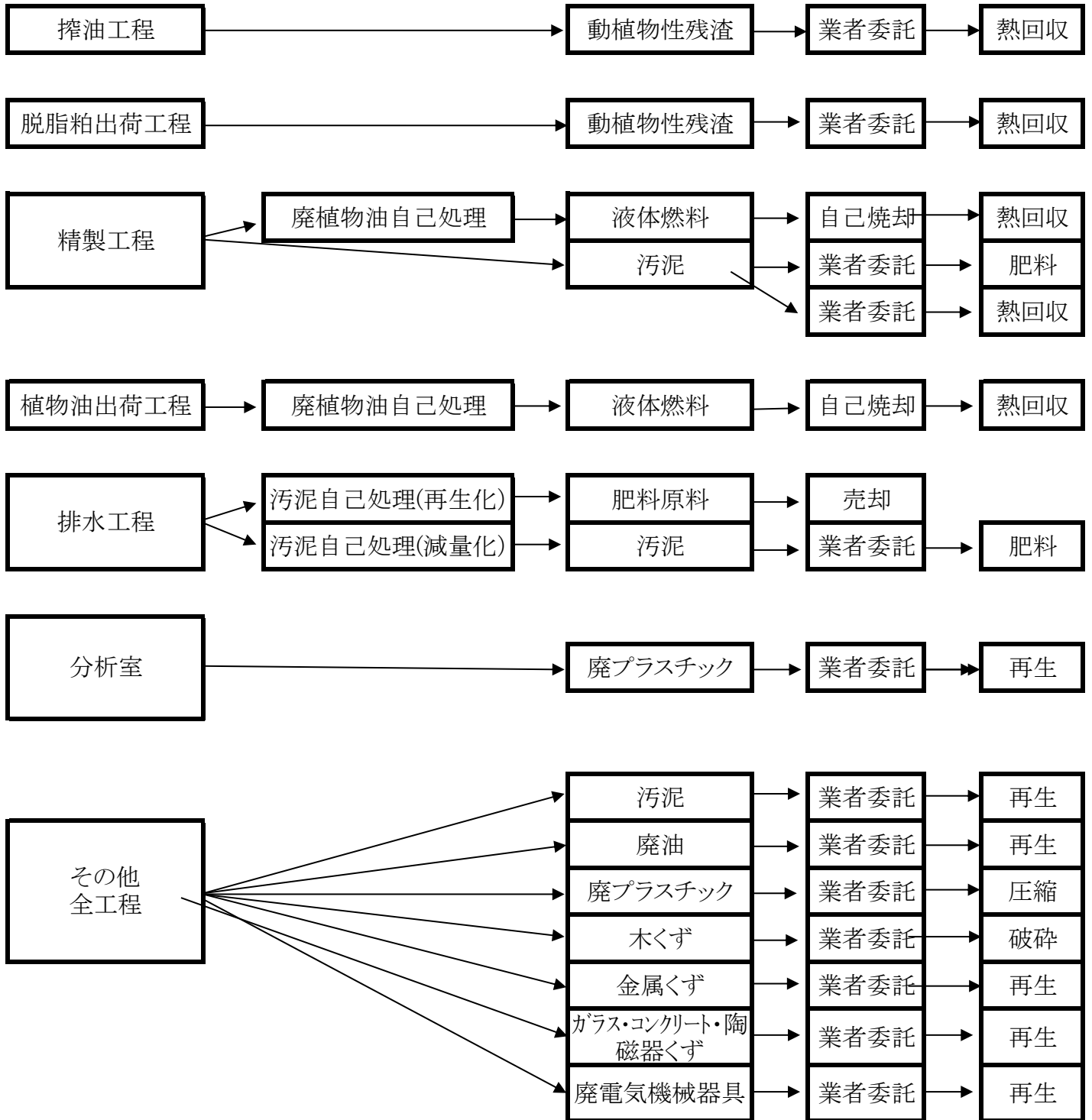
①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	（これまでに実施した取組） ・委託処理を行なっている廃棄物はすべて再生利用業者へ委託することを目指しているが、再生利用出来ないものについては熱回収業者に委託している。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(今後実施する予定の取組)		
・委託業者の優良認定化推進及び熱回収業者の認定化推進		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物(除:特別管理産業廃棄物)の
一連の処理の工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（30年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	排出量	5562.6 t	2365.3 t	138 t	4.7 t	0.0 t	2.1 t	0.7 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	排出量	5600.0 t	2400.0 t	150.0 t	5.0 t	2.5 t	2.5 t	1.0 t	0.0 t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（30年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	220.1 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	230.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（30年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	2360.8 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5235.7 t	2360.8 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0.0 t	2380 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	5300.0 t	2380 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（30年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（30年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	全処理委託量	1124.3 t	4.5 t	138.8 t	4.7 t	0.0 t	2.1 t	0.7 t	0.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	943.6 t	0.0 t	0.0 t	3.1 t	0.0 t	2.1 t	0.7 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃電気機械器具
	全処理委託量	1100.0 t	30.0 t	150.0 t	5.0 t	2.5 t	2.0 t	1.0 t	0.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	940.0 t	0.0 t	0.0 t	3.0 t	2.5 t	2.0 t	1.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	160.0 t	30.0 t	150.0 t	2.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	